

キャシーのたなべ冒険

国際交流員のキャシディー・ドリスコルです。「キャシー」と呼んでください♪
このコーナーでは、私が市内を冒険して体験した様々な出来事を皆さんにお伝えします！

押忍！



第1回 日々に新たなり

初めまして！ アメリカのニューヨーク州から来ました、キャシディーと申します！ 大学で物理学と日本文学の勉強をし、今年の5月に卒業しました。田辺市に来て第一印象は、自分の故郷と少し似ていると感じました。私の故郷のサラトガというところは結構静かで、自然や農場が多いところです。また、子供の時、よく山登りやキャンプをしたりしました。そういうわけで、大自然がいっぱいの田辺市に来られてとてもうれしくて、アウトドアの活動を楽しみにしています。これから、国際交流を盛んにするように頑張っていきます。私にとっては毎日が冒険で、ずっと「日々に新たなり」という意識を持っています。ぜひ、一緒に楽しみましょう！ よろしくお祈りします！

◇趣味 日本文学を読むこと（好きな作家：谷崎潤一郎）

◇特技 空手（初段）

◇好きな食べ物 パンケーキ

◇日本の好きなところ 自然的なところ・景色がいいところ

◇これからやってみたいこと 熊野古道を歩きたい！



たなべスマイル



地域の魅力をアピールし、
観光客を増やしたい



けい
片山 啓 さん

中辺路町峰
美峰会 代表

私は兵庫県出身です。備長炭の仕事がきっかけで、10年前に峰へ来ました。景観がよく、地域の方もいい方ばかりで、峰をととても気に入りました。

美峰会を結成したのは、今年3月。地域の活性化のために、有志が集まりました。最近、滝尻茶屋が復活したのを皆さんご存じでしょうか？施設を美峰会で借り、運営は地域おこし協力隊員が行っています。基本的に隊員がやりたいようにしてもらい、私はその手助けをしています。任期終了後も住んでもらうため、自立の一步をここで踏み出してもらいたいと思っているからです。秋は古道歩きをする方が多いので、それに向けての話し合いも進めています。精一杯のおもてなしでお客さんを受け入れられるよう準備しますので、皆さんも是非一度お越しください。

美峰会では「これをやりたい」「あれをやりたい」と様々な意見が出ます。活動はまだまだ始まったばかりなので、少しずつ様子を見ながら取り組んでいけたらいいなと思います。



青春キラリ！ 高校生レポーター



鮮魚店の大将

写真・文 神島高校 宮崎 美奈

今回は、鮮魚店の盛永利夫さん取材しました。盛永さんは現在63歳で、30歳で店を構えました。このお店では、生物だけでなく干物も売られています。今が旬の魚を聞いてみると、お盆頃にはサバやアジがおいしくなってくると教えていただきました。盛永さんは、毎日の仕入れの良し悪しに苦労しているそうです。また、仕事のやりがい、お客さんの「おいしかった」の喜びの声を聞く時だと笑顔で話していただきました。盛永さんは、これからについて「お客さんが来てくれる限り、一日でも多く店を開きたい。好きでこの店をやっているの、体調に気を付けながら長く続けられたらいい」と語っていただきました。毎日大変だと思うけれど、元気にお仕事頑張ってください。この取材で鮮魚店の方の苦労が分かったので、旬のサバやアジを食べてみたいと思いました。

備えて 安心！ 防災コラム



第52回 防災の日

皆さんは「防災の日」をご存じですか。

台風・高潮・津波・地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するためとして、昭和35年に9月1日が「防災の日」と制定されました。また、昭和57年からは、9月1日の「防災の日」を含む1週間（8月30日～9月5日）が「防災週間」と定められています。

9月1日という日付は、大正12年9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災」に由来しています。

田辺市でも9月の第一日曜日を「家族で考え

る防災の日」としています。家族で防災について話し合っていた日として、家族という小さなコミュニティの中で災害への対応力を高め、家庭から地域へと防災意識が高まることを目的としています。

こうしたことから、9月は防災についてよく考える機会となっています。今月号の広報田辺の特集記事も「防災」をテーマとしました。この機会に自分の周囲で起こる可能性がある災害や身の回りの危険な箇所、また、避難場所や避難経路等を確認するなど、防災について考えてみましょう。



図書館へ行こう



司書のおすすめ！ 新着図書



60分でわかるEV革命&自動運転最前線
著/次世代自動車ビジネス研究会
発行/技術評論社

EVや自動運転の疑問などを、次世代自動車をキーポイントに分かりやすく解説する。



生きものつながる石ころ探検
文・絵/盛口 満
発行/株式会社少年写真新聞社

石ころなんてどこにでもあ。だからいろいろな生き物が石を利用して生きています。中には石をつくる生き物もあります。さあ、石ころ探検に出掛けましょう！

ひとことコラム

秋の味覚として松茸の時期には少々早いと思いますが、松茸の旬は8月中旬頃に北海道から始まり、9月中旬頃から日本列島を南下していくことはご存じでしょうか。人工栽培の話もありますが、商業ベースに乗るのはまだ先のようなので、土や温度・湿度など栽培するための問題がありますが、きのこ関連の図書も所蔵していますので、松茸のロマンに浸ってみてください。(雄)

休館日

本館=毎週①、9/18・25④(④振替)、27⑥(整理日)
龍神分室=第1・3・5①④、9/17・24④⑥
中辺路分室=毎週①、9/17・24④⑥
大塔分室=第1・3・4・5①、毎週①、9/17・24④⑥
本宮分室=毎週①④、9/17・24④⑥

※移動図書館の運行日時は、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
固 市立図書館 ☎ 0739-22-0697 □ <http://www.city.tanabe.lg.jp/tosho/index.html>

お子さんと一緒に
おはなしのコーナー

★おはなし会
絵本の読み聞かせや紙芝居など(対象:4歳くらいから)
本館=9/2・9・16・23・30、10/7 全
①(11時~)
中辺路分室=9/15④(10時30分~)
大塔分室=9/8④(10時30分~)

★おはなしのじかん
おはなしやわらべうたなど(対象:小学生以上)
本館=9/1④、10/6④(11時~)

★おはなしタイム
おはなしや絵本の読み聞かせなど(対象:4歳くらいから)
本館=9/8・15・22 全④(11時~)

★ひよこタイム
絵本の読み聞かせやわらべうたあそびなど(対象:0~2歳くらい)
本館=9/19④(11時~)

★こぐまタイム
絵本の読み聞かせやわらべうたあそびなど(対象:2~3歳くらい)
本館=9/19④(11時30分~)

開館時間

本館=④~①9時30分~19時30分
①・④9時30分~18時
分室=9時~17時
※龍神分室は、④~⑥20時まで時間延長あり。

我が家の愛ドル ~9月生まれ~



奥平 颯子ちゃん(1歳)
ふうこ
2870gで生まれたふうちゃん
大きくなったね
幸せをいっぱいありがとう
大好きやで
お父さんお母さんより



高垣 篤人ちゃん(4歳)(右)
あつと
高垣 勇人ちゃん(4歳)(左)
ゆうと
4歳のお誕生日おめでとう☆これからも二人仲良く、元気にすくすくおきなっね♡



清水 涼平ちゃん(3歳)
りょうへい
お誕生日おめでとう♡
いつも元気いっぱい涼くん。
色々な事を経験して大きくなってね!!
じいじ、ばあばより

広報発行月に誕生日を迎えるお子さん(就学前まで)の写真を募集しています。氏名、住所、生年月日、電話番号、簡単なコメント(50字まで)を添えてください。10月生まれのお子さんの締切りは、9月10日④です。掲載できる枠に限りがありますので、先着順とさせていただきます。ご了承ください。
■宛先 〒646-8545 新屋敷町1 企画広報課 広聴広報係 ☑ kikaku@city.tanabe.lg.jp



すくすく子育てクラブ

第61回 いやいや期の対処法について



龍神行政局
住民福祉課
上森 充

「子供が言うことを聞いてくれない！」
ピークは、2~3歳の頃。子供は自分の気持ちをぶつけた時の親の反応から「ここまでは自分をだしても大丈夫なのだ」ということを少しずつ学び、我慢や周囲と折り合いをつけることができるようになります。
この頃は、反抗期、自立期とも言われ、誰もが成長していく上で必ず通る道です。感情の表れ方の強弱は子供の個性で、親も頭にくることがあって当然です。イライラする時は、落ち着く時間をとるのも方法の一つです。
他にも、大人が頭ごなしに決め付けず、子供

が「自分で決めた」と思うように誘導してみましょう。
①「どっちがいい？」で選ばせる。
例えば着替えなら2枚の服を出して、「どっちがいい？」と聞く。
②伝えるタイミングを考える。
「ご飯だからお片付けよ」のように、子供の注意がこちらに向いた時にすべきことを伝える。
「ママなんて嫌い」と反発するので親も困ったり、ショックを感じたりしますが、4歳頃には落ち着いてきます。心に余裕を持って、お子さんと向き合ってみてください。